

高砂市教育振興基本計画策定検討委員会(第3回) 会議録(要旨)

- 1 日時 令和7年 1 月 21 日(火) 午後1時 30 分～午後3時
- 2 会場 高砂市役所本庁舎 301 会議室
- 3 議題 (1)パブリックコメント(意見募集)の実施結果
(2)第4期高砂市教育振興基本計画(最終案)
(3)第4期高砂市教育振興基本計画ダイジェスト版
- 4 委員出席者 8名
押田 貴久(委員長)
藤原 寛文 覚野 成広 松本 克英 森口 輝一
片岡 さわ子 河井 建吾 西本 アタル
- 5 事務局 教育長 教育部長 教育推進室長 学校教育室長 学校教育室参事
教育総務課長
子育て支援室長
- 6 会議の公開 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録要旨 この会議録は、抄録として発言の要旨をまとめたものであり、全ての発言が記載されているものではありません。

開会 (午後1時 30 分)

【事務局】

第3回高砂市教育振興基本計画策定検討委員会を開会します。開会にあたり、教育長の玉野より、ごあいさつ申し上げます。

1 教育長あいさつ

【教育長】

昨日の1月 20 日は大寒ということでしたが、このまま温かいままであってほしいとも思いますが、なかなかそうはいかないでしょうか。私は年末にインフルエンザに罹り、大変な思いをしていました。皆さまはお変わりないでしょうか。第3回となりました教育振興基本計画策定検討委員会ですが、皆様のご意見をたくさん伺えればと思います。充実した検討委員会にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【事務局】

それでは、この後の進行は、押田委員長お願いいたします。

2 第4期高砂市教育振興基本計画についての協議

【押田委員長】

協議に入らせていただきます。はじめに、協議Ⅰの「パブリックコメントの実施結果」について、事務局から説明をお願いします。

(1)パブリックコメント(意見募集)の実施結果

【事務局】 [資料Ⅰに基づき説明]

【押田委員長】

事務局より、パブリックコメントの説明がありました。小・中学生からも意見をいただきました。このようなこどもの意見表明は今後積極的にやっていかなければいけないことだと思います。一般の方では意見数としては7人ということで、多いのか少ないのか難しいところではありますが、市民の方からの率直な意見が寄せられていたと思います。ご意見について、現時点でも概ね反映されているように受け止めていたところでは。

今回、こどもたちの意見表明を取り入れたことが、この計画にとって大きなポイントだと思います。これからの時代、当事者の声を大切にすることが社会の流れになりつつありますが、高砂市では教育長のリーダーシップのもとで先駆けて取組んでいるということだと思います。小・中学生から60件の意見が寄せられ、特に中学生からは中学生らしい声が寄せられており、大変頼もしく思っています。こどもたちの意見についても、概ね、すでに取り入れられているかと思いますが、委員の皆さま、ご意見いかがでしょうか。

こどものアンケートからは、学習に関すること、ハード面のICT端末を使う中での課題も挙げられています。また、学校施設の老朽化は新たな学校づくり推進審議会でも議題に挙がっており、高砂市の大きな課題です。こどもたちの声をどのように反映させていくのかは、大きなポイントになってくるかと思っています。

【委員】

こどもの素直な意見がたくさん出ている中で、学校の施設の充実や不登校のこどもたちがリモートで授業を受けられる機会の増加が実現できたらよいと思いました。

【委員】

パブリックコメントの分析をしていただいております、分かりやすかったです。これは教育振興基本計画策定のためのパブリックコメントですが、計画が実行されることが大切だと思います。今後の話だと思いますので、実際に計画実行する段階で、できるだけ早い時期に、どう優先順位をつけて動き出すのかを考え、まずは、具体的な行動をしていただきたいと思います。

【押田委員長】

意見交換の時間を後ほど設けていますので、その時にもご意見をお寄せいただければと思います。

(2)第4期高砂市教育振興基本計画(最終案)

【押田委員長】

協議2の「第4期高砂市教育振興基本計画(最終案)」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 [資料2に基づき説明]

【押田委員長】

皆さまにも事前にお送りし、昨日までにご意見やご質問はいただいていませんが、改めて何かご意見やご質問はございますか。最終案ということで、基本的に検討委員会で承認をいただくことになりますので、ご意見等があればいただければと思います。私の方からは、もし可能であれば、こどものパブリックコメントから一部を計画冊子の中に反映できると、今回の高砂市の計画として1つの成果になると思います。市民向けのパブリックコメントの中でご意見としてありましたが、法律に基づいて作成している計画ですので、全国で基本的には同じような色になります。その中で文言や内容を高砂市の特色に合わせているのですが、今回はプロセスとして、こどもの声を積極的に反映させたということを、本編紙面にも反映いただけるとよいと思います。基本的には最終案で問題ないかと思っていますので、ご検討をお願いいたします。

【事務局】

こどもからも率直な意見をいただき、時間をかけて考えてくれた意見だと思っていますので、計画にも反映できるよう、事務局で検討して追記したいと思います。

【押田委員長】

可能な範囲で構いませんので、よろしくお願いします。それでは、基本的にはこの最終案で問題ないということで、この後は教育委員会に提出することになりますが、最終案でよろしいでしょうか。

[委員一同承認]

【押田委員長】

それでは、最終案で教育委員会に提出できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

(3)第4期高砂市教育振興基本計画ダイジェスト版

【押田委員長】

協議3の「第4期高砂市教育振興基本計画ダイジェスト版」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 [資料3に基づき説明]

【押田委員長】

事務局からご案内いただいたように、印刷はどちらか1パターンのみとなりますので、委員の皆さまからいずれかご意見いただければと思います。

【委員】

パターン1ですが、1-3-2について、就学前教育から幼児教育に修正されていないため、確認をお願いします。

【事務局】

修正いたします。

【押田委員長】

その他、内容面も含めていかがでしょうか。いずれもよいデザインを作っていただいているので、どちらも使えればよいのですが、予算の関係もあり、どちらか1パターンを選べればと思います。

【委員】

どちらかですね。どちらもそれぞれのよさがあり、両方を生かしたいと思いました。印刷は1パターンになるかと思いますが、ホームページ公開などの方法もあるかと思いますが、両方活用する方向がよいと思います。

【事務局】

場面に応じて活用の仕方はあると思いますので、どちらも活用できればと思っています。

【委員】

ダイジェスト版の印刷部数が450部ということですが、本編を読む人は少ないと思われますので、できれば、こども園、保育園、小学生・中学生のこどもがいる全ての保護者に読んでいただけるように届けた方がよいと思います。もしそうなった場合、ダイジェスト版のパターン2は具体的な内容まで書かれており、配布にもよいと思います。ただ、最近は、文字数が多いと、スルーしてしまうこともあるかもしれません。難しいかもしれませんが、高砂市はどのようにして教育を進めていくのかを知っていただくための資料だと思いますので、工夫して、多くの方に届けていただきたいと思います。

【事務局】

今回、450部と多くない部数になっています。小学生や中学生、幼児期の保護者の方々にも昨年7月にアンケートにお答えいただいているので、多くの方に今回の計画内容を知っていただく必要があると思っています。印刷物としての配布は難しいですが、各小・中学校、こども園などでもデジタル連絡ツールの仕組みがありますので、それを活用して配信できればと思います。

【委員】

デジタル連絡ツールで送るのであれば、横向きは読みにくいかもしれないので、縦向きの方がよいかもしれません。例えば、パターン2を縦にするならば、左の基本的な方針を上、その下に力を入れるポイントを記載するなど、デジタル連絡ツールでの配信を前提とするのであれば、それに合わせたレイアウトを考えた方がよいと思います。

【押田委員長】

450部の配布先は、どこを予定しているのでしょうか。

【事務局】

計画策定にかかわっていただいた皆さま、学校、関係機関などにお送りするイメージです。部数が不足するようであれば、追加での印刷を検討することは可能です。

【押田委員長】

本編を読むことは難しくても、概要を把握してもらうためダイジェスト版を作成するわけですが、そういった意味で、どちらの形式がよいのかを判断できればと思います。本当はこども向けがあってもよいと思いますが、それは次のステージとして考えていただければと思います。全戸配布や回覧板で回すのではない、また、全教職員に配布する部数でもないため、今の時代ですのでデータでの対応が中心になります。代表となる関係各所に配布するためのものとして、印刷のイメージをご検討いただければと思います。パターン1も2も、いずれも活用可能かと思いますが、ひとまずの印刷物としてどちらを残すか、いかがでしょうか。

【委員】

PTAの役員など、もう少し広い範囲の広報となるとよいと思います。パターン2はポイントが入っていてよいですね。ただ文量が多いのが心配です。一方で、パターン1もよいのですが、少し味気ない気もします。これ以上要約するのも厳しいかと思うので、判断が難しいところです。情報発信をするにあたって、配信や広報の手段を検討いただければよいのかなと思います。

【押田委員長】

どちらかを選ぶのが難しい状況ではありますが、両方を活用する、もしくは、両方をミックスさせるようなことは難しいでしょうか、ということも思います。あまりこういった進め方は気が進みませんが、どちらの方を印刷物とするのがよいとお伺いできればと思います。

（挙手による意見表明）

【押田委員長】

満場一致で、パターン2を中心に進められればと思います。いくつかご要望などもありましたので、ひとまずパターン2を軸にしながら、両方をうまく活用する方法を検討いただき、委員の皆さまからもご意見があれば事務局にお寄せいただければと思います。

【委員】

KPIは市民に公開した方がよろしいでしょうか。見えにくくなってしまうように感じました。

【事務局】

今回、指標は方針ごとに2つずつ挙げています。少し見えにくい部分もありますが、やはり指標を目標として毎年取り組んでいくということは、お示しする必要があると思います。また教職員の方々にも見ていただき、どんなことを目標にしているかの意識をもっていただきたいと考えていますので、指標については掲載させていただければと思います。

指標で測りにくいことも多いのが教育ですので、この KPI の決定にも多くの議論があり、指標を設定することが難しかったなかで、現在の指標となっています。やはり数値で見る方がよいというご意見もいただいておりますので、KPI は掲載させていただければと思います。

【委員】

数値を具体的に示すことの必要性は理解しました。基本的な方針とKPIを横並びにして、左右で対応しているような形にするなど、工夫をした方が分かりやすいのではないかと思います。

【押田委員長】

パターン2は情報量が多いため、紙面構成は再度検討していただければと思います。KPIについては、ご理解いただいたように載せることになると思うのですが、示し方は再度検討いただければと思います。ご意見がありましたら、今週いっぱいまでに事務局にご連絡いただき、事務局の方で調整可能な範囲で調整いただければと思います。それでは、ダイジェスト版の基本的な方針は、パターン2を印刷物とし、両方の活用についても検討するというところでよろしいでしょうか。

[委員一同承認]

3 意見交換

【押田委員長】

意見交換の時間を取らせていただきます。冒頭のパブリックコメントへのご意見や高砂市の教育への想いや願い、この委員会にご出席いただいたの感想など、事前にお伝えさせていただいておりましたが、お一人3分程度でお願いできればと思います。

【委員】

3回の委員会に参加させていただき、5年間の基本計画を作るということで、事務局の皆さんはこれだけの資料作成など大変だったかと思います。この中で私が思ったこととして、5年間という期間での計画を作っていますが、実行中の進捗管理などはどのようになるのでしょうか。次回以降の計画策定にあたり、振り返りをさせていただきながら生かすことができるようにしていただければと思いました。

【事務局】

振り返りについて、資料 2 の 34 ページをご覧くださいませでしょうか。この点検・評価シートにより、5 年間の進捗状況を毎年管理することで、目標に対してできていること、不十分なことを検証しながら、目標達成に向けて進めていく予定です。

【押田委員長】

点検・評価シートは今までも公表しているのでしょうか。また、今後も公表するのでしょうか。

【事務局】

これまでも点検・評価シートは作成していましたが、少し複雑だったため、今回は見やすく修正しています。点検・評価シートは過去も公開をしており、今後もホームページに公開する予定です。

【委員】

これから5年間ということで、うまく進んでいくことを祈っています。日本全体でこどもの数が減っていく中で、教育にかかるコストを惜しんでいる国だと感じています。他の先進国と比較して、教育にかかる予算が少ないということを承知していますが、その中で、高砂市の教育は、きめ細かく、一人ひとりに対応してくれる、全てのこどもを受け入れてくれるというような強い特色を打ち出していくと、子どもを想う保護者の方から選んでいただきやすくなるのではないかと思います。あくまでも県や国のルールに従って行っていることかと思いますが、例えば子どものパブリックコメントの 17 ページにある「1クラスの人数が少ない方がよい。少ない方がより授業を静かに受けられ、集中できそう。」という意見がありましたが、これに対して「学級の人数は国が定めた法律に基づいて」という回答となっており、当然そうだと思います。ですが、高砂市はこどもの数が減り、建物はあっても、教員という職業が給料に見合わない「しんどさ」もあることなどから人気なくなっています。例えば、ここで、教員の待遇を他の自治体よりもよくする、教員の負担を減らすなど、予算をかけることで、少人数できめ細かくサポートできるなどの対応ができないかと思っています。難しいことは理解していますが、そういったことができてはじめて、「高砂市の教育は他の自治体よりもよい」という口コミが広がり、人が高砂市に集まってくるようになるのではないかと思います。この規模の自治体だからこそできるのではないかと思います。人口10万人を超えるような都市では難しいことでも、少人数できめ細かくできることが高砂市の強みになるのではないかと考えています。今回の計画は5年間ですが、この5年間で充実させることで、その次の5年は「選ばれるまち高砂」「教育のまち高砂」として、市外からの移住を増やすことができるのではないのでしょうか。個性豊かなこどもが地元で育ち、支えるようになるかもしれません。次の5年間はそういった方向を目指すといよいのではないかと感じています。

【委員】

3つ感想があります。1つ目は、「難しかった」です。検討委員会の際は、これだけの資料を読み込み、正直とても難しいと感じていました。ですが、ここで学べたことは、私自身とても大きかったと思います。2つ目は、新聞の見方が変わりました。普段、地域欄は高砂市のことしか見ていませんでした。それが徐々に隣の加古川市や、他の自治体にも目を向けるようになり、新聞の見方が広がることを感じました。3つ目は、「嬉しかった」です。パブリックコメントを2回程読み返したのですが、その中でも小・中学生版の 11 ページ、小

学生の「高砂市をよりよくしようとしているなと思いました。高砂市の一人ひとりを大切にしようとしていることが伝わってきました。」という意見をもらうことができ、とても嬉しかったです。このような機会をいただき、感謝しています。最後に、これだけの資料を作るのに相当な時間をかけていたと思います。それもこの場にいたからこそ分かったことです。私も高砂市で生まれ育った者として、少しでも貢献できればと思いました。

【委員】

私もこういった場がはじめてで、教育の現場でこのようなことが行われているということを知りませんでした。自分が小さいときは、先生の話聞かないようなこともで、今となれば申し訳なかったと思うところです。前回もお話させていただきましたが、私の会社には外国人研修生がおり、全ての人に対して思いやりのある対応ができるような教育を義務教育のうちにやっていただきたいと申し上げたのですが、今後も外国人研修生の受け入れは増えてくると思います。私の会社ではミャンマーや中国からの研修生がいるのですが、その国を訪問した時に感じたこととして、語学力に関して、日本人は不十分ではないかというのが私の感覚です。特に英語力は感心するレベルでした。外国語の義務教育が小学校からと、私がこどもの時代より早くなっていて、長い期間英語に触れるようにはなっていますが、ちょっとした英単語でも知っている子どもが増えてくればと思います。例えば、同窓会のときに出る話題として、運動会や音楽会などがありますが、そういったイベントに並ぶように外国語にかかわるイベントがあれば、思い出になり、語学力の育成にもつながるのかなと思います。ぜひ、外国語教育の充実も視野に、計画を進めていただきたいと思いました。

【委員】

5年前にも計画策定に携わらせていただいたのですが、今回の計画は、とても分かりやすくまとめたいただいていると感じました。この計画を常に意識しながら、よい方向へと進めていただきたいと思います。その中で感じたのですが、私たちが普段目にしない文言も多くあり、文章を読んでいる中で、前後の文脈から理解していました。本日の案でも一部は注釈で説明を加えていただいているかと思いますが、もう少し細かくあると分かりやすくてよいかと思いました。

【委員】

私も教育振興基本計画の策定にかかわるのは初めてで、このように細かく検討しているということがよく分かりました。毎回の議論を聞きながら、今後は子どもたちにも教えていくわけですが、少しプレッシャーを感じています。指標を見ていると、目標が2～6%上がっていますが、これを上げるためにはどうしていかなければならないのか、一つひとつ細かく考えなければいけませんし、どうしようかと思っています。私が、学校の立場として大切に思うことは、子どもたちが笑顔で登校して、笑顔で帰ること、やる気をもって勉強したり遊んだりすることだと思います。その中で目標が、今回示されている内容だと思いますので、子どもたちが笑顔で過ごせるような、わくわくドキドキするような学校をつくっていければと思っています。

【押田委員長】

皆さんから感想をいただきましたが、教育長からいかがでしょうか。

【教育長】

皆さま、ありがとうございました。これからの5年間をしっかりと取り組まなければいけないと考えていましたが、後押しして下さる方がいることに嬉しく思います。学校という立場や、地域の立場、保護者の立場など、それぞれの立場からご支援いただければと思います。また、もう少し方向転換すべきではないかというご意見もいただいたかと思いますが、私たちもできることは対応しているのですが、どうしても難しいことがあることもご理解いただけますと幸いです。教員に対して、給与面の待遇も検討しながら、やりがいを増やしていきたいと思っていますが、なかなか難しいという現状です。予算は厳しいかもしれませんが、高砂市が総がかりで、市民全体の教育を推進していくような形ができればと思っています。市民の皆さんには、行政に、何をやってもらうかだけではなく、市民の皆さんにも何ができるのかということを考えていただき、当事者になっていただけるような取組を、行政が行っていかねばいけないと考えています。そのような想いで今後5年間取り組みますので、ご支援いただけますと幸いです。

【押田委員長】

本日の議題、意見交換は全て終了しました。進行を事務局にお返しします。皆さま、熱心にご協力いただきありがとうございました。

4 事務連絡

【事務局】

今後のスケジュールですが、パブリックコメントの結果をホームページに1月中の公開を予定しています。また、計画についても2月に教育委員会がありますので、そこでの協議を経て、2月中のホームページ公開を予定しています。また、ダイジェスト版に対する追加のご意見もございましたら、事務局にご連絡いただければと思います。本日で検討委員会が最後となっています。閉会にあたりまして、教育部長よりごあいさつ申し上げます。

5 部長あいさつ

【教育部長】

委員の皆さまには、忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。委員会も3回あり、皆さまからも記載事項や、SDGsのこと、KPIについてもさまざまなご意見をいただき、審議し、最終案という形でまとめることができました。ダイジェスト版についてもご意見をいただきましたので、参考にしながら、どのようにまとめて活用していくか、改めて検討したいと思います。今回で教育振興基本計画は4期目になりますが、初めての取組が3つありました。1つ目は、事前のアンケートを行うことです。その意見を計画に盛り込むことも初めての作業になります。2つ目は、これまでの計画はやっていることや、やりたいことを網羅するような、幅広く、細かく記載した計画になっていましたが、今回はこの5年間でやるべきことを重点化し、中身を大きく変更しました。3つ目は、これまでもパブリックコメントは行っていたのですが、こども向けに行うのは初めての取組でした。こどもたちの意見はとても素直であり、今後事業を展開していく上で大変参考になる意見がたくさんありましたので、教育に限らず、いろいろな計画を策定する上でも重要な取組になったのでは

ないかと思ひます。最後になります、平日の日中というお時間でスケジュールをご調整いただきありがとうございました。改めて御礼申し上げます。今後も学校運営協議会など、様々な場面がございますので、地域の皆様や教職員の皆様との協力体制を充実させていきたいと思っております。

【事務局】

以上をもちまして、第3回教育振興基本計画策定検討委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

閉会（午後3時）